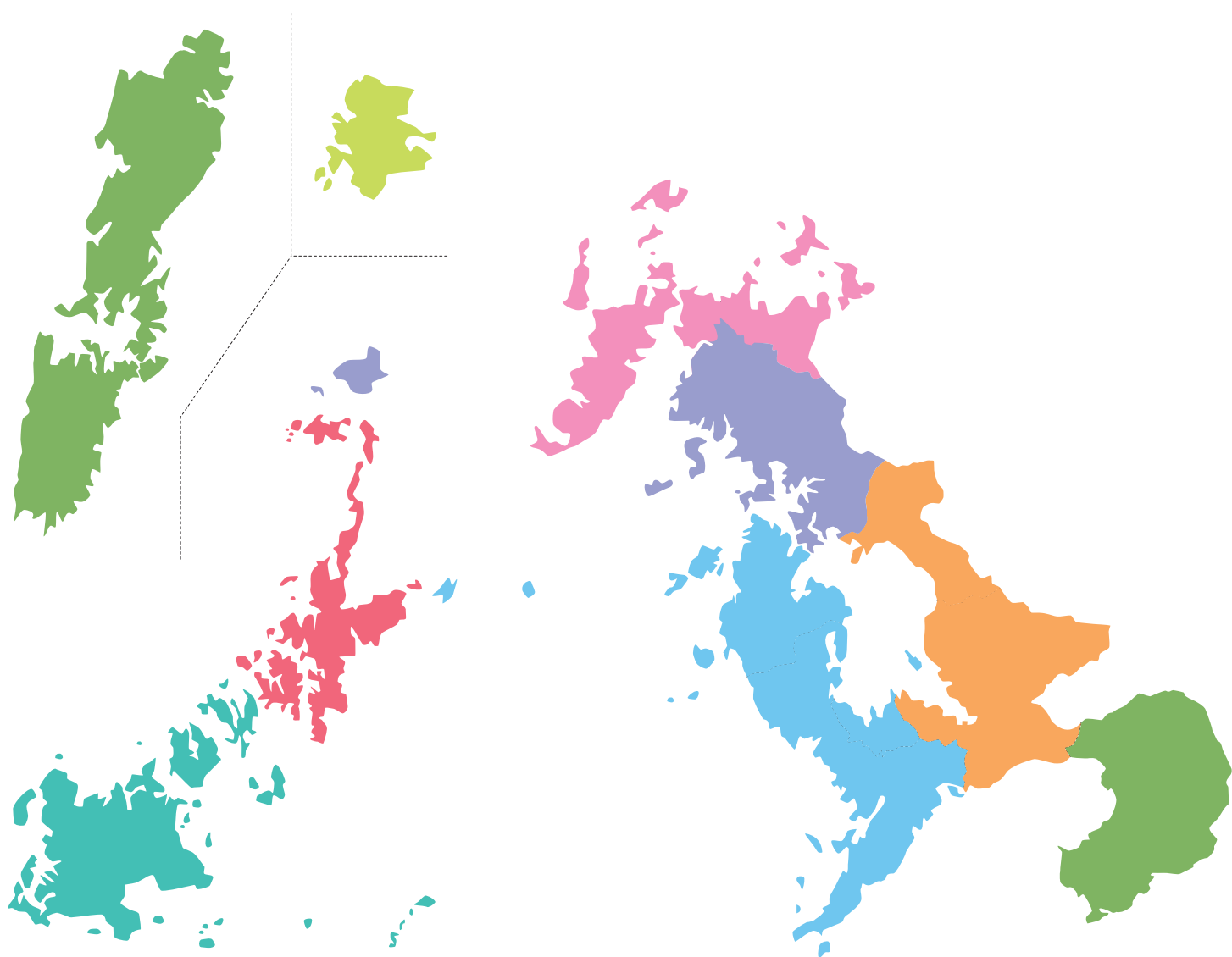


長崎県地域医療継続支援事業に 関するアンケート調査

平成 30 年度
報告書



ながさき地域医療人材支援センター

長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート調査 報告書

平成 30 年 12 月
ながさき地域医療人材支援センター

目次

1. 調査概要	3
2. 調査結果	
①年代について	4
②会員・性別について	4
③主たる診療科について	4
④常勤医師数について	5
⑤事業の承継者について	5
⑥承継される医師等を対象とした支援の利用について	9
⑦I・J・Uターンの可能性、意思確認について	10
⑧今後の医療継続に繋がる環境、整備について（自由記述）	10
3. 報告	16
4. アンケート用紙（参照）	17

1. 調査概要

I・J・Uターンを希望する医師に係る基礎調査のため、次の通りアンケートを実施した

目的：県外在住の医師に対してI・J・Uターンを呼びかけ、医師不足地域において診療所の開業・継承や診療所・病院に従事しようとする医師を地元市町とともに支援する

調査日：平成30年3月

調査方法：長崎県医師会事務局より会員へ送付（3月号会報に同封）会員は記入後、返信用封筒に入れ、県医師会へ送付

送付数：3,300件

回収数：267件（回収率8%）

質問項目：

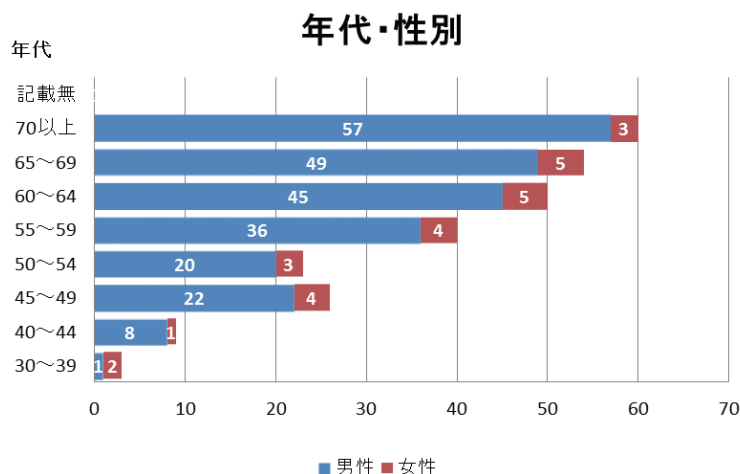
- ①年代について
- ②会員・性別について
- ③主たる診療科について
- ④常勤医師数について
- ⑤事業の承継者について
- ⑥承継される医師等を対象とした支援の利用について
- ⑦I・J・Uターンの可能性、意思確認について
- ⑧今後の医療継続に繋がる環境、整備について（自由記述）

2. 調査結果

※①～③は A 会員 B 会員共通質問

①年代について

70歳以上	60名	24%
65～69歳	54名	21%
60～64歳	50名	19%
55～59歳	40名	15%
50～54歳	23名	8%
45～49歳	26名	9%
40～44歳	9名	3%
30～39歳	3名	1%



②会員・性別について

A 会員：187 名
B 会員：65 名
記載無：15 名

男性：240 名
女性：27 名

会員	合計	男性	女性
A	187	174	13
B	65	54	11
記載無	15	12	3

③主たる診療科について

【内科系：110 件 41%】

内科、消化器科、循環器科

【外科系：40 件 15%】

外科、泌尿器科、脳神経外科

【感覚・運動器系：63 件 24%】

眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科・アレルギー科、
形成外科、整形外科、リハビリ科

【女性・母子・小児系：40 件 15%】

小児科、産婦人科

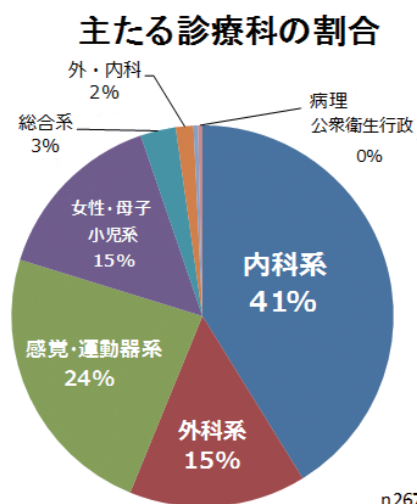
【総合系：8 件 3%】

精神神経科、総合診療科

【外科内科：4 件 2%】

【その他：2 件】

病理（大学病院）公衆衛生行政（保健所）の回答あり

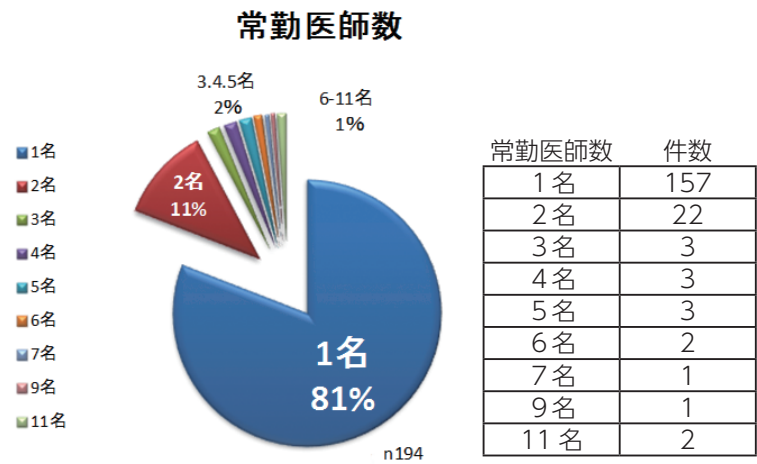


※④～⑥は A 会員のみ質問

④常勤医師数について

常勤医師は 1 ～ 2 名の医療機関が 90%以上を占めている。

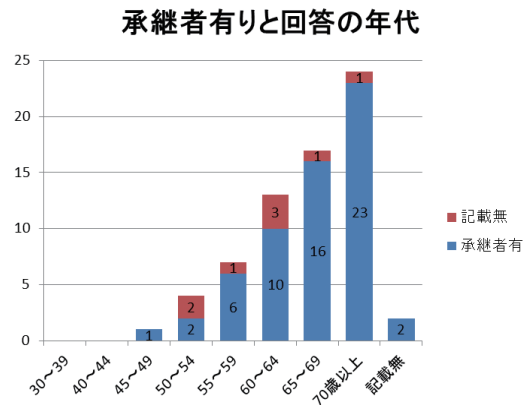
1名	157件
2名	22件
3名	3件
4名	3件
5名	3件
6名	2件
7名	1件
8名	1件
9名	1件
11名	2件



⑤事業の承継者について

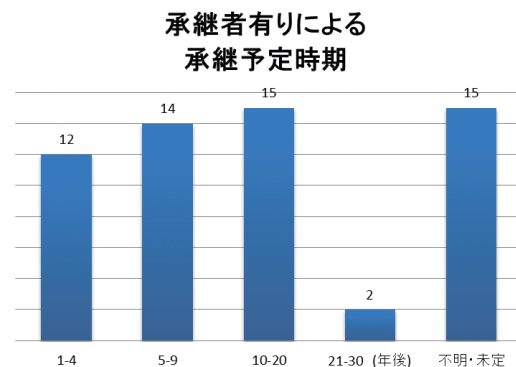
有りと回答 (60名)

70歳以上	23名
65～69歳	16名
60～64歳	10名
55～59歳	6名
50～54歳	2名
45～49歳	1名
40～44歳	0名
30～39歳	0名
記載無	8名



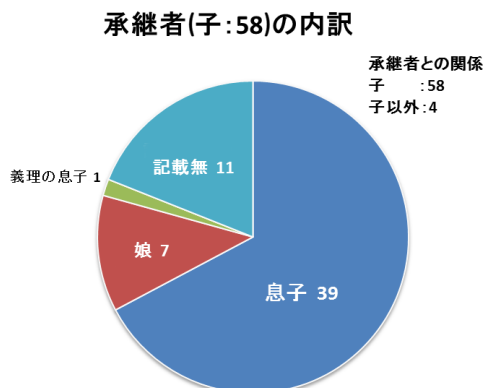
承継予定時期 (概ねの年数にて回答)

1～4年後	12件
5～9年後	14件
10～20年後	15件
21～30年後	2件
不明・未定	15件



承継者が子：58名の内訳

息子	39名
娘	7名
義理の息子	1名
記載無	11名



子以外：4名の内訳

親族、従業員、後輩

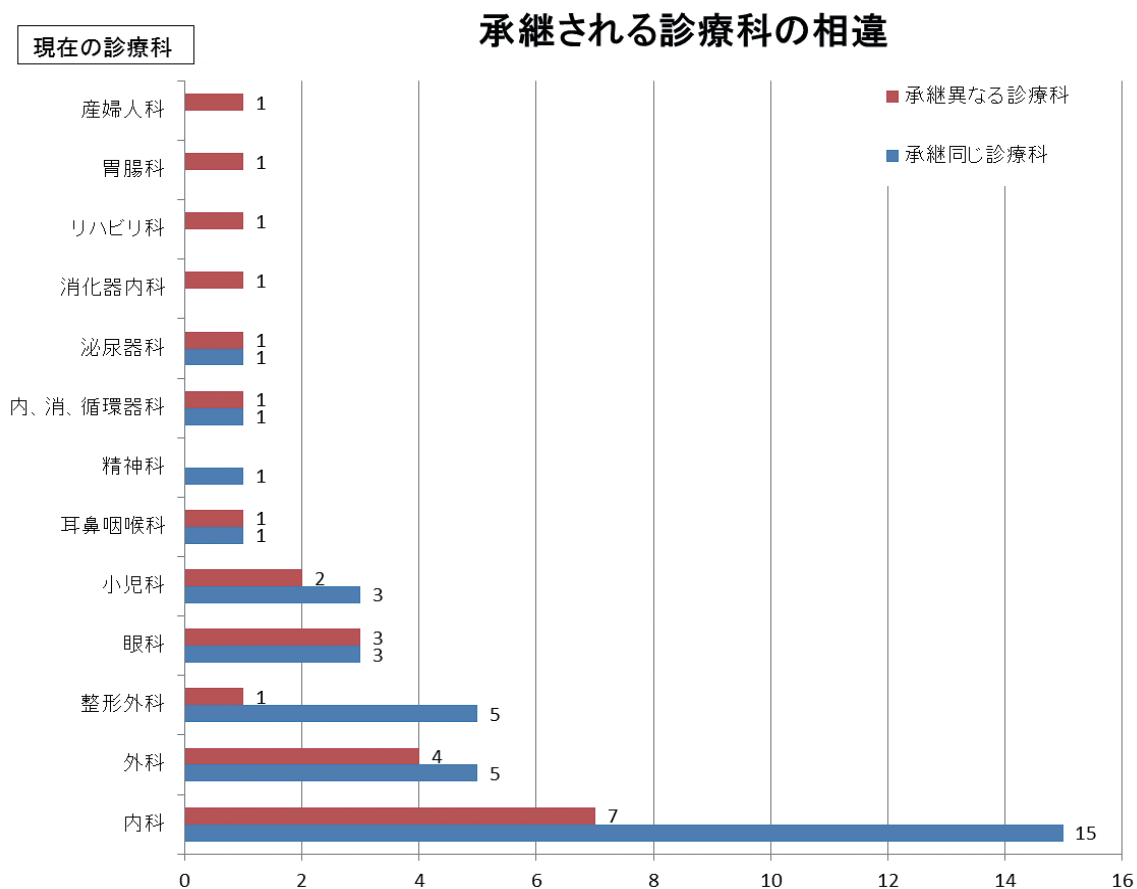
承継される診療科について

現在の診療科と承継者の主たる診療科の相違

- ・現在と同じ診療科 : 35 件
- ・現在と異なる診療科 : 24 件

同じ診療科	件数
内科	15
外科	5
整形外科	5
眼科	3
小児科	3
耳鼻咽喉科	1
精神科	1
内科・循環器科	1
泌尿器科	1

異なる診療科	件数
内科	7
外科	4
眼科	3
小児科	2
胃腸科	1
内・消・循環器科	1
産婦人科	1
耳鼻科	1
消化器内科	1
整形外科	1
泌尿器科	1
リハビリ科	1

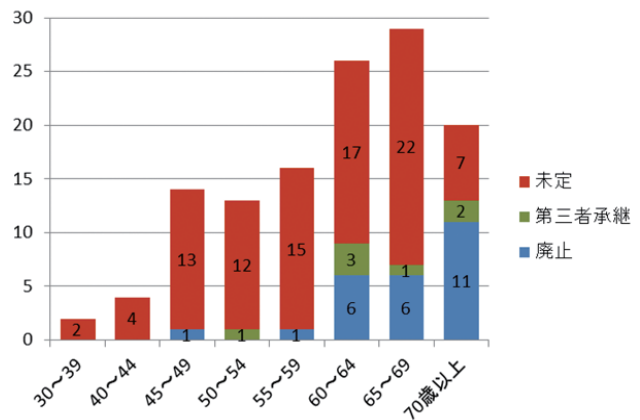


無しと回答（無し：124名）

- ・第三者承継を受けてくれる者がいれば事業譲渡や分院など考えていきたいという回答あり

70歳以上	20名
65～69歳	29名
60～64歳	26名
55～59歳	16名
50～54歳	13名
45～49歳	14名
40～44歳	4名
30～39歳	2名

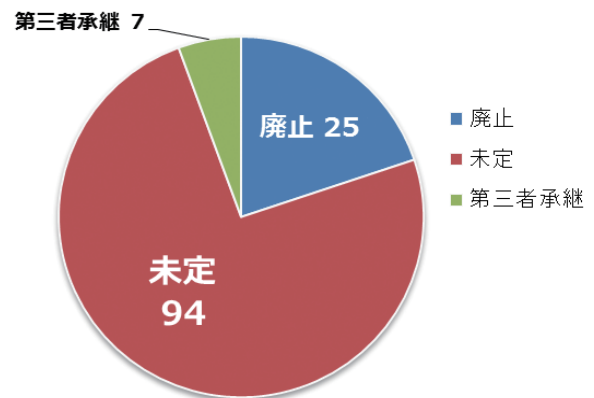
承継者無しと回答の年代



承継者無しの場合による今後
（複数回答あり）

廃止	25件
未定	94件
第三者承継	7件

承継者無しの場合による今後



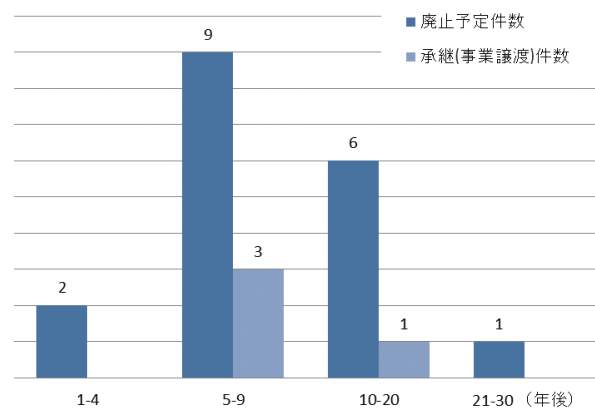
廃止する時期（概ね）

1～4年後	2件
5～9年後	9件
10～20年後	6件
21～30年後	1件

事業譲渡時期（概ね）

5～9年後	3件
10～20年後	1件

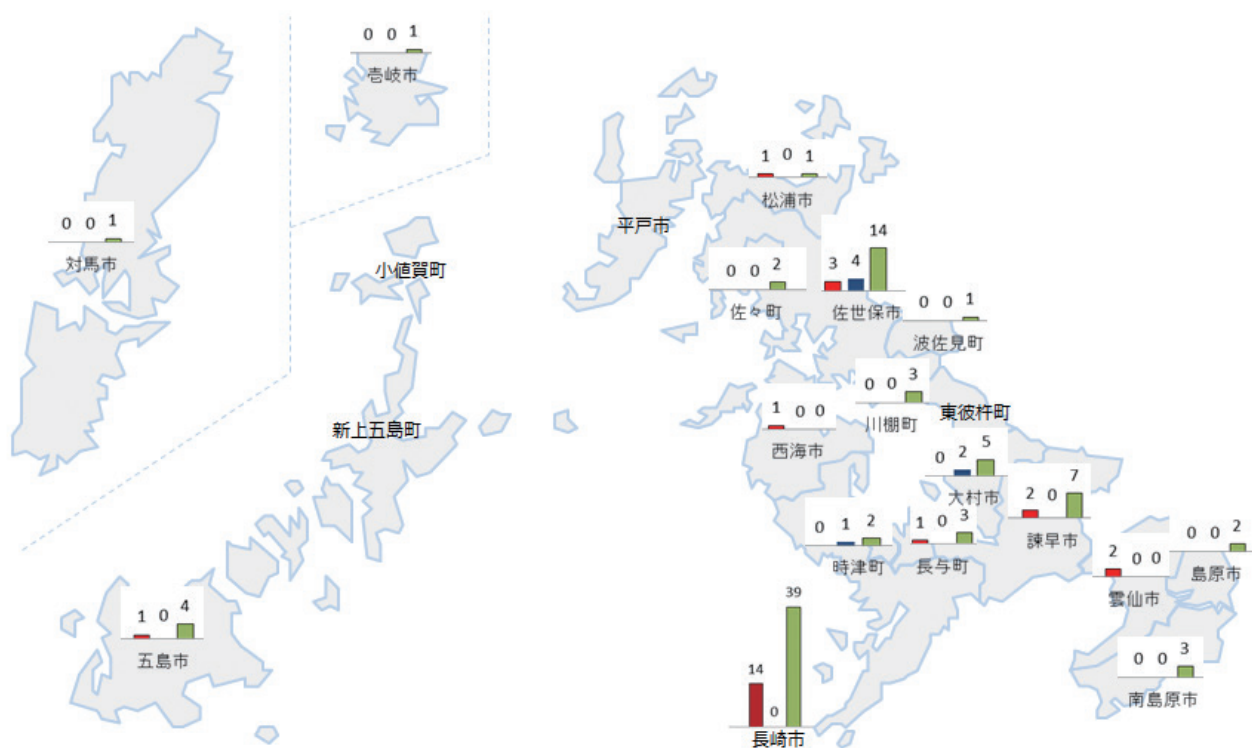
承継者無しによる 承継(事業譲渡)または廃止時期



承継者無しの地域追跡

	廃止	第三者承継	未定
長崎市	14		39
壱岐市			1
諫早市	2		7
雲仙市	2		
大村市		2	5
五島市	1		4
西海市	1		
佐世保市	3	4	14
島原市			2
対馬市			1
松浦市	1		1
南島原市			3
長与町	1		3
時津町		1	2
波佐見町			1
川棚町			3
佐々町			2
記載無			4
合計	25	7	92

廃止：赤 第三者承継：青 未定：緑



⑥承継される医師等を対象とした支援の利用について

承継される医師や第三者承継を考えている医師を対象とした支援を利用したいか

思う	98
思わない	73
不明	1

承継される医師や第三者承継を考えている医師を対象にどのような支援があると良いと思うか
(自由記述)

	承継される医師や第三者承継を考えている医師へどのような支援があると良いか	件数
1	紹介・承継医師バンク・斡旋・派遣	15
2	医業継承のコンサルタント	6
3	経営戦略	5
4	専門分野、開業を考えているなど情報共有	5
5	病気、急用時、長期出張時の支援	4
6	医師会による第三者のマッチング設定	4
7	補助金の支援・相談	3
8	税制による優遇・支援	2
9	勤務医の確保	2
10	事業承継希望者と承継希望事務所（物件）の紹介と両者のマッチング事業	2
11	人口を増やし仕事を増やす	2
12	開業した、実際に継いでいる	2
13	管理業務全般	1
14	従業員の育成と確保	1
15	新築、移転時の資金調達の支援	1
16	廃業後の土地、建物を貸したい	1
17	認定医療法人制度を使いたい	1
18	魅力ある街づくり	1
19	地域医療構想の実現に向けてもっと行政がかかわる	1
20	長崎医師会報に第三者承継幹施や医師募集の記事をのせる	1
21	頻回の保険点数変更等というより厚生局の都合で基準がかえられること	1
22	個人医院の人材不足解消	1
23	保険診療の要点、集団指導への対策などの説明	1
24	改装や器具の整備の補助や看護師の確保の支援など	1
25	地域病院との連携	1
26	医師会会費等の減額	1
27	支援を希望しているとの情報公開	1
28	患者が別の医院、病院に行っても同じような診療を受けてもらえる環境	1
29	人口減に対しどのような医療が変わってほしいのかブランドデザインが明らかになればと思います	1
30	誰か事業を継承してくださる方がいれば、その時どうするか考えます	1
31	開業を希望している医師のサポート	1
32	画一的に可能かどうか不明	1

※⑦～⑧は A 会員 B 会員共通

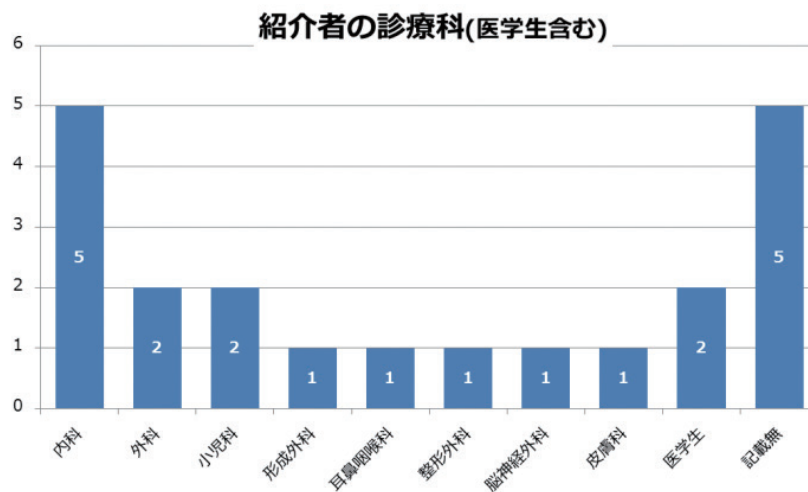
⑦ I・J・U ターンの可能性、意思確認について

現在、県外在住の医師（研修医を含む）で I・J・U ターン就職の可能性、もしくは意向確認を行った医師を紹介してください（医学生も可）

- ・回答あり 18 件
- ・紹介者 21 名

紹介者年代

- ・20代 8名
- ・30代 7名
- ・40代 3名
- ・記載無 3名



⑧ 今後の医療継続に繋がる環境、整備について（自由記述）

どのような環境が整備されると長崎県で開業または勤務してもいいと思う医師が増えると感じるか（自由記述）

※自由供述（個別記載）の為、掲載を控えております

3. 報告

報 告

本アンケート調査の概要・目的は長崎県医師会員を通じてI・J・Uターンを希望する医師を探索し自治体の支援事業に繋げることである。

送付数 3,300 件に対し 267 件の回収があり回収率は 8% であった。
アンケート調査には個人情報に関する内容が含まれている。

以下、アンケートの各項目について考察を含めて要点を報告する

1. 年代：自施設の承継を検討する 55 歳以上の世代の会員からの回収が多かった。
2. 性別：回答 267 名中女性が 27 名（10%）と少なかった。全国の女性医師の割合は約 2 割であることを踏まえると男性の施設長が多いためと考えられる。
3. 主たる診療科：各診療科から意見が寄せられている。今後県下の診療科の比率と比較しての考察が求められる。
4. 常勤医師数：常勤医師数 1-2 名の施設からの回収が 92% を占めており、病院以外からの回収が主体であると考えられる。
5. 事業の承継者について：承継者有り 60 名（22.5%）、無し 124 名（46.4%）、回答無し 83 名（31.1%）と約 3 割が回答しておらず、個人情報を含み答え難い内容であることや、自施設を有さない会員も参加しているためと推察された。年代別には 60 代以上の会員からの回答が主体であった。承継者無しと回答した 124 名中 94 名が自施設の廃止や承継について未定であった。郡市医師会別に見ると長崎市、佐世保市の都市部に承継無しで自施設の今後が未定とする結果が多かったが、県全域に承継者がいない医療施設があることが分かった。
6. 支援の利用希望の有無：回収できた 267 件のうち 98 件で長崎県地域医療継続支援事業を利用したいという結果を得た。また具体的な支援内容の希望として親族ではない第三者への承継を望む意見を多く認めた。
7. 医師の紹介：267 件中 18 件、計 21 名の紹介があった。この 21 名の医師に対しては紹介元の医師会員に直接電話連絡し具体的な連絡先の調査票を記入いただいている。今後紹介があった医師に対して事業の紹介をしていく方針である。
8. 自由記述：多様な意見が出されており、今後の事業計画の参考となる。

4. アンケート用紙

【本アンケート調査の背景と目的】

長崎県で医療施設において診療に従事する医師数は 4,042 人（平成 28 年 1 2 月末現在）で、人口 10 万人あたりの医師数は 295.7 人となっています。

近年全国的にも若手医師の都市部への偏在が指摘されております。若手医師を一定数確保している長崎市、佐世保市、大村市の基幹病院は周辺の医師不足地域をカバーする役割を果たしているという側面がありますが、都市部周辺以外の医療圏では医師不足だけでなく医師の高齢化も進んでいます。医師不足地域に医師確保することは喫緊の課題となっています。

長崎県では近い将来、開業医および病院に勤務する医師数が不足するだけでなく、地域医療の質の低下が予想されます。このような事態を招かないために長崎県にゆかりのある県外在住の医師にアプローチを行い、I・J・U ターン就職の働きかけを行うとともに、地域医療を担う医師の確保に繋げていくことで、県民が安全・安心に暮らし続けることができる医療提供体制の整備を行いたいと考えています。

本アンケート調査は、県内における実態を把握し、5～10 年先に医師が不足することが想定される地域・診療科については行政や大学等とも協議し、医師の確保・定着のための施策を検討することを目的に実施いたします。

「長崎県地域医療継続支援事業」に関するアンケート調査

医療機関名	
医師名	

この調査に関する内容について、事業の目的（前述下線）に沿って利用されることに同意します。

医師名 _____ ㊟ (A会員 ・ B会員)

Q1～Q3は、A会員・B会員共通

Q1 年代について伺います。(いずれかを○印で囲んでください)

1. 30～39歳 2. 40～44歳 3. 45～49歳 4. 50～54歳
5. 55～59歳 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70歳以上

Q2 性別について伺います。(いずれかを○印で囲んでください)

1. 男性 2. 女性

Q3 主たる診療科をご記入ください。

(科) ⇒

B会員の方は、Q7へお進みください

Q4～Q6は、A会員の方のみご記入ください

Q4 貴院の常勤医師数を教えてください。

() 名

Q5 事業の承継者について教えてください。

1. 有り **2. 無し** (いずれかを○印で囲んでください)

1. 有り の場合	関係（続柄）	()
	承継予定時期	() 年後
	承継者の主たる診療科	() 科
2. 無し の場合 ABCのいずれかを ○印で囲んでください	A 廃止	(概ね) 年後
	B 第三者承継（事業譲渡）	(概ね) 年後
	C 未定	

Q6 承継される医師や第三者承継を考えている医師を対象とした支援を利用したい
と思いますか。

1. 思う 2. 思わない (いずれかを○印で囲んでください)

どのような支援があると良いと思いますか。ご記入ください。

Q7～Q8は、A会員・B会員共通

Q7 現在、県外在住の医師（研修医を含む）でI・J・Uターン就職の可能性がある、もしくはI・U・Jターン就職の意向確認を行ってもよい医師を紹介ください。

*医学部在学中の御子息、お知り合いでも構いませんので、よろしくお願いします。

1	氏名		年代	
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	
2	氏名		年代	
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	
3	氏名		年代	
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	
4	氏名		年代	
	診療科		勤務先または所属医局 (在学中の場合は大学名)	

Q8 どのような環境が整備されると、長崎県で開業または勤務してもいいと思う医師が増えるとお感じになっているかお聞かせください。

ながさき地域医療人材支援センター

長崎県地域医療継続支援事業に関するアンケート

平成 30 年度 報告書

発行 平成 31 年 1 月

代表者 高山 隼人

ながさき地域医療人材支援センター センター長

長崎大学病院地域医療支援センター 副センター長

〒 852-8501 長崎市坂本町 1 丁目 7 番 1 号

TEL 095-819-7346



ながさき地域医療人材支援センター